

1988~89 R.I. 第274地区 第6分区

インターナシティ・ゼネラル・フォーラム
記 錄 書



Put Life into Rotary—Your Life
ロータリーに活力を——あなたの活力を

1989年2月25日(土) 13:00

於 長崎県医師会館

ホストクラブ 東長崎ロータリークラブ

コ・ホストクラブ 長崎西ロータリークラブ

プロ グ ラ ム

司会：ホストクラブ幹事 松下 端夫

12:00~13:00	登録		
13:00~13:30	(1) 点鐘	実行委員長	田口末春
	(2) 閉会宣言	S.A.A.	井形 正
	(3) 国歌斉唱	ソングリーダー	豊島壮光
	(4) ロータリーソング「奉仕の理想」	ソングリーダー	豊島壮光
	(5) 歓迎のことば	実行委員長	田口末春
	(6) フォーラムリーダー・カウンセラー・ガバナー紹介	実行委員長	田口末春
	(7) 分区代理あいさつ	フォーラムリーダー	脇山良一
	(8) 部門別リーダー・副リーダー紹介	フォーラムリーダー	脇山良一
	(9) 出席クラブ紹介	フォーラムリーダー	脇山良一
	(10) カウンセラーあいさつ	パストガバナー	岩永光治
13:30~13:40	(会場移動)		
13:40~15:40	部門別フォーラム（途中休憩10分）		
15:40~15:50	(会場移動)		
15:50~16:30	部門別フォーラム所感	各部門リーダー	
	講評	カウンセラー	岩永光治
	閉会宣言	S.A.A.	井形 正
	点鐘	実行委員長	田口末春

歓迎のことば

実行委員長 田 口 末 春

昭和天皇の崩御以後、皆様方も複雑な思い出に浸りながら、ご冥福をお祈りして参られたことと思います。昨日の大喪の礼を境に、今日から新しい年が歩き始めた様な気がいたします。

この記念すべき本日、第274地区第6分区I.G.F.が開催され、ホストクラブとしてお手伝い出来ました事を大変光栄に存じております。今回のI.G.F.は先輩各位の貴重なご意見等を拝聴し乍ら若干趣向を替えてご案内いたしました所、421名の登録を戴き、感謝いたしております。また、カウンセラー始め運営委員各位には絶大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

これより3時間、各部門別に勉強会に臨んで戴きますが、R.I.会長が掲げる「ロータリーに活力を—あなたの活力を」を基調として、益々躍進される事を願って止みません。

最後に運営その他、何かと行屈かぬ点も多々あろうかと存じますが、皆様の友情と好意によりご寛容を賜り、この大会の成果が上がりりますようお願い申し上げます。

以上、簡単でございますが歓迎のご挨拶といたします。

フォーラムリーダー挨拶

第274地区第6分区代理 脇山良一

本日は大変な雨の中、多数ご参加戴き誠に有り難うございます。今回のI.G.F.は東長崎RCをホストに、長崎西RCをコ・ホストといたしまして開催の運びと成りました。両クラブのご努力に感謝いたしております。

昨日、昭和天皇の大喪の礼も無事終わり、本日のI.G.F.を迎えられ、心から嬉しく思っております。

本日は最後まで熱心に協議下さいますようお願ひいたしまして、ご挨拶とさせて戴きます。本日は誠に有り難うございました。

ガバナー挨拶

第274地区ガバナー 辻 庚一

ガバナーの辻でございます。一言ご挨拶させて戴きます。

昨年は第6分区の皆様と、公式訪問の折お目にかかり、大変お世話になりました。本日また、皆様の元気なお姿に接し心から嬉しく思っております。

本日は雨の中多数の皆様に参加戴き I.G.F.の開催となりました。

三部門に分れての協議が行われますが、名簿を見ますと、新入会員の方が多数いらっしゃいますので、I.G.F.についてご説明したいと思います。I.G.F.とはインターナシティ・ゼネラル・フォーラムと申しまして、近隣のクラブが集まり、自由討議をすることです。炉辺会合が少し大きくなったものとお考え下さい。リラックスして自由に日頃感じた事、疑問に思う事を話し合って下さい。そうする事で、ロータリーへの理解が深まり、より一層身近かで楽しいロータリーとなると思います。

私も各部会へ参りまして、色々と皆様とお話しする機会もあるかと思います。簡単ではございますが、私の気持ちを述べまして、ご挨拶とさせて戴きます。有り難うございました。

新会員部会

カウンセラー 岩永光治(長崎) 記録 山田吉喜(長崎西)
リーダー 立川召一(長崎西) S.A.A. 多田三樹雄(〃)
副リーダー 松本汎人(〃)

岩永カウンセラー挨拶 新会員部会はあまり発言されないのが普通ですが、3年以内にこだわらないで活発な発言をして下さい。幸いなことにロータリーを勉強するビデオが国際ロータリーより届いておりますので、見て戴きたいと思います。

立川リーダー挨拶 新会員部会でこれから皆様と一緒に勉強させて戴く訳ですが、ベテランの岩永カウンセラーと会員のベテランの方も多数出席しておられますので、皆様のご協力をよろしくお願ひします。

<ビデオ約23分放映>

松本副リーダー 只今、奉仕の理想に対するビデオを見て戴きました。皆様のロータリーの理解を手助けするビデオだったと思います。

さて、今回 I.G.F.の集まりの前にアンケートのご協力を戴きました。これからリーダーが回答状況を説明して行きますので問題点、質問がありましたら活発な発言をお願いします。

<アンケートの結果をリーダーより報告>

松本副リーダー 先程から辻ガバナーが当部会の状況をお聞きになっていますので一言お伺いしたいと思います。辻ガバナー、よろしくお願ひします。

辻ガバナー 新会員部会の資料の説明を聞いておりましたが、詳細なデータを用意してあることに感心しました。「ロータリーとは何か」という一番素朴な質問が数字となって表われていると思いながら聞いていました。

私のロータリー歴は30年以上ですが、この年月の間には出席やメーキャップに対して悩んだこともありました。ロータリーは人と人との交わりなのです。ここから奉仕へと拡大していくのです。奉仕活動について理解し難い部分もあると思いますが、活発に討議して、

お互いで話し合って下さい。このデータをもとにして私のテキストにしたいと思います。

松本副リーダー アンケートの結果に対する皆様のお考えをお聞きしたいと思います。例会出席で「楽しくないが義務感で出席している」が15名となっています。このことについて皆様のご意見をお聞きしたいと思います。

堤君（福江） 入会3年ですが、自クラブへの出席が出張等で50%であり、出張先のメーキャップは業務の都合等で大変困難です。希望として例会の回数を少なくしてもらいたいのですが、いかがですか。

岩永カウンセラー 例会週1回は国際ロータリーの原則であります。ロータリアン手帳に標準定款がありますので読んで下さい。友愛と奉仕が旗印ですから、クラブへの出席が基本と考えて下さい。

自己クラブへの出席について困難な場合はメーキャップすることになりますが、連続4回欠席は親睦できないと考えており、ロータリー発足時より約束されていることなのです。また、例会を月2回にしてはとの意見はシンガポールの規定審議会の時に出されますが、全部否決されています。

谷川君（長崎） 1年未満の会員ですが、アンケートには楽しく出席していると回答しました。最初の1～2ヶ月はしっくりしませんでしたが、それは入会時の理解不足が原因で楽しくなかったのです。仲間を知る事からロータリーを理解することが出来たのは、親睦委員会に所属したからだと思います。手順を理解するところから協力の姿勢があると思います。

朝永君（長崎東） 入会して1年10ヶ月が経過しました。最初の3ヶ月は負担に感じました。地区大会に出席した時に千宗室氏の話の中で「自分から溶け込むように」との言葉を聞いて努力したのです。古いロータリアンの方の新人を知る努力はいかがなものかお聞かせ下さい。

吉田君（長崎南） 入会して2ヶ月足らずですが、親睦委員会に所属させて戴き楽しくしております。古い会員の方も新会員に対しての心遣いが必要であると思います。特に配席に問題があると思います。席を変化させることにより沢山の人と話し合えるようになり、古い会員との交流ができると思います。

松本副リーダー メーキャップについて感想をお聞かせ下さい。

新会員の方の率直な感想を聞かせて下さい。

四元君（長崎西） 私は楽しく出席しています。最初は行きづらい時がありましたか、J.Cでお世話になった人々がおられるのでメーキャップも苦になりません。経験してみるとメーキャップはとにかく、思い切って行くことであると思います。

山口君（長崎北） メーキャップの仕方を教えて下さい。特に遠いクラブでのメーキャップの時、バナー やニコニコのエチケットについて教えて下さい。

立川リーダー 遠いクラブを訪問した場合、慣行としてバナーの交換をして帰ることがあります。特に海外のクラブでのメーキャップでもバナーの交換が行われております。

平田君（長崎） バナー交換は他クラブ遠方の場合はお帰りになってから送りますというのが慣行であると思います。事業計画の中でもバナー交換先を知っておいた方が良いと思います。

浜辺君（東長崎） 入会して1年半ですが、メーキャップについて手順の理解不足に對して、推せん者に同行して戴きましたので心強く感じました。

松本副リーダー 自己クラブに出席するよりも、メーキャップした方が大切にされると言われますかいかがですか。

立川リーダー 私は33才で入会しましたので自クラブになじむのに苦労しました。しかし出張等で遠方のクラブでメーキャップすれば親切にして戴きました。長崎東RCは席札があって大変良いと思います。各クラブで受入れについて十分配慮する必要があると思います。

吉田君（長崎南） メーキャップした時、卓話が始まれば退席して良いのか教えて下さい。

岩永カウンセラー 早退防止は注意しなければなりません。相手の気持を知ることからしても失礼です。60%の時間という概念だけではありません。まして、出席は競争ではありません。奉仕について努力することが大切です。相手の身になって早退は出来るだけしないようにしなければなりません。最近は早退者が多いように思われますが、出席は親睦の始まりです。

吉原君（長崎北） メーキャップ4回連続についてお教え下さい。

立川リーダー 定款通り4回連続欠席と自己クラブ60%出席が基本であります。

松本副リーダー 奉仕活動についての考え方を具体的にアンケートに書いて戴きましたが、皆様の考えをお聞かせ下さい。

栗原君（福江） 昨年入会したのですが、職業奉仕について企業としての奉仕とロータリアンとしての奉仕の位置付けが理解できませんので質問します。

立川リーダー 職業を通しての社会への奉仕、これが基本であります。

岩永カウンセラー 親睦と奉仕がロータリーの基本です。本来の意味は「奉え仕つる」ことであり、超我の奉仕、自分より相手のことを考えて実践することが奉仕であると理解しています。個人の奉仕を中心にロータリーは考えています。従って金銭による奉仕が中

心ではありません。

立川リーダー では本日の新会員部会のまとめをしたいと思います。

岩永カウンセラー ご意見有り難うございました。古い会員の方にも参考になったと思います。推せん者の役割についても考えさせられました。古い会員の心遣いについても考えて戴きたいし、例会をおもしろくするような努力をして、奉仕の理想に燃えたクラブ作りが出来るように皆様と共に考えて行きたいと思います。

クラブ奉仕部会

カウンセラー 脇山良一(長崎北) 記録 江崎淑夫(長崎)
リーダー 吉田秋義(長崎) " 小林喜平太(")
副リーダー 広瀬範造(") S.A.A. 園田武彦(")

吉田リーダー 脇山分区代理には、フォーラム・リーダーと共に、クラブ奉仕部会のカウンセラーも務めて戴きます。限られた時間ですので、皆様のご協力を得て、充実したフォーラムとなるようにしたいと思います。

それでは、カウンセラーの脇山良一第6分区代理に、クラブ奉仕に対するお話を聞いて戴きます。

脇山カウンセラー 今までクラブ奉仕の中に、広報委員会と情報委員会があり、地区では会報雑誌広報委員会となっていたが、今年から会報雑誌委員会と情報広報委員会の2つに分けられた。

今年はR.I.会長のメッセージもあり、辻ガバナーの方針として、とにかくクラブ奉仕に重点をおいて欲しい、ということを言われている。

会員増強については、クラブを増やす、いわゆる拡大は難しいので、増強に力を入れて欲しいと思っている。

R.I.本部の投資ミスによる赤字と、近代的な18階建のビルの購入による負担金の増額の問題、女子会員の問題が今度ソウルである国際大会で計られる。

最近、炉辺会合がすたれているが、長崎西RCは熱心にやっておられる。

吉田リーダー 本日のI.G.F.開催に当たり、クラブ奉仕部会として、前もって各クラブにアンケートをお願いいたしましたものを、広瀬副リーダーがまとめ、参考に配布させて戴きました。進行の途中で若干取り上げてみたいと考えております。

さて、1905年、青年弁護士ポール・ハリスが米国シカゴにおいて、当時の経済恐慌による人心の荒廃を憂い、貧困、疾病、また人種、信仰を超えて、全ての人々が平和で友好であるよう願って、業種の異った同志4名で創立されたロータリークラブは発展を続け、一昨日2月23日をもって84周年を迎えた今日、世界164カ国、465地区、クラブ数23,906、会員数1,062,058人(『ロータリーの友』'89年2月号)に発展し、(日本地区では、29地区、クラブ数1,821、会員数107,897人)、人類の幸福と世界平和実現の為、貢献しております。

この発展の原動力は何かと言えば、初期の知り合いを広め、親睦を深めることから、奉

仕に発展する過程で、クラブへの奉仕が確立されてきたからと思います。すなわち「ロータリーの綱領」は我々のバイブルであり、「四つのテスト」は言行に対する至言であります。本年度ロイス・アビーR.I.会長は、「ロータリーに活力を——あなたの活力を」のテーマのもと示された12の要請課題、その呼びかけに共感された、我が第274地区ガバナーは、その中から5つの重点基本目標を示されました。

- 1.奉仕に対する全員参加の実現（クラブ内、クラブ外の事業活動において）
- 2.出席の向上
- 3.ロータリー情報の徹底
- 4.会員増強拡大
- 5.青少年活動の強化

すなわち全てがクラブ奉仕の充実強化に重点が置かれており、ガバナー自ら「わたしが奉仕の火を燃やす年」として、地区ロータリー発展の先頭に立って活力を注入されています。言うまでもなく、クラブ奉仕はロータリー存立並びに活動の根幹であり、クラブ奉仕（各委員会）が充実するか否かが、盛衰の鍵であると呼びかけておられます。そこで本日は、1～4を取り上げ勉強したいと思います。

○出席の向上

吉田リーダー ロータリーは出席からと言われております。出席向上については、各クラブとも努力されている訳ですが、これからご発言をお願いしたいと思います。まず長崎東RCは昨年度、出席率100%の栄誉を獲得されました。12月には100%少し割られているように思いますが、達成のご努力とその辺のお話をお願ひいたします。

山下君（長崎東） 理由は会員全員に、出席はロータリアンの義務であるという観念が徹底しているのではないか。また例会に出てくるのが楽しみになるような雰囲気作りがしてある。その他、新入会員が早く例会に馴染んで、出席が楽しみになるようなムード作り、そういう方に引っぱって行く先輩会員の努力が必要ではないかと思う。

才津君（福江） 以前1クラブしかなかったので、出席には気を使った。福江中央RCができメーキャップが容易になったが、長崎方面のように毎日できる状態ではない。ずっと以前、私が係をしていた時は、先週の欠席者には、その後必ずメーキャップ要請をしていた。

吉岡君（東長崎） 送られてくる東京RCの週報を読んでみると、毎週毎週の卓話者が著名な方であり、我々のクラブではなかなかそういう訳にはいかないが、出席が楽しくなるというのは、ああいうことではないだろうかと個人的に思った。

吉田リーダー まずロータリーは出席からということでございまして、これも前後6日間、最近はクラブ数も増えましたし、ちょっと気を付ければ達成できるのではないか、その為にはクラブの雰囲気その他もよくなければいけないでしょうし、また卓話も期待をし、魅力のあるものであり、食事も楽しいというようにならなければいけないのではないかと思いますが、そういう調和をとりながら、だんだんに発展をするのではないかと思う訳です。

○ロータリー情報の徹底

吉田リーダー 奉仕に対する全員参加の実現、広報も含め、またクラブ内の充実ということにつきましては、ロータリー情報の徹底が非常に大切な問題だと思います。またガバナーもそれを強調されております。各ロータリークラブは、国際ロータリーが定めたクラブ定款を採択することによって、ロータリークラブとなっている訳であります。

また、ロータリークラブ会員は、地域における職業分類を代表し、ロータリー綱領を受諾することによって選挙されていることは、充分ご承知である訳ですが、ロイス・アビーR.I.会長は、現在のロータリー活動は20%の会員が全体の80%の事業を行っていると喝破されています。また「あなたなしにはロータリーは存在しない」と懸念されています。このことは、奉仕に対する全員参加ということを含め、ロータリー情報に大きく関係があると思います。各クラブ会員の皆さんには、『ロータリアン必携』その他文献等により、充分勉強のことと思いますが、ここで長崎南RCの福井さんに、ロータリー情報委員長としてのものの考え方と具体的な実行について、ご発表をお願いしたいと思います。

福井君（長崎南） 一人ひとりのロータリアンが自覚をもって、ロータリーのことについても興味をもち、関心をよせて戴きたいという気持がある。例えば炉辺会合をしても、一番来て戴きたいと思う方が出席されない。それからロータリー情報の一番大事なのは、ロータリーというのは一体何だろうか、ロータリアンとは、ロータリークラブとは何だろうかといった基本的問題である。また情報で大切なのは例会であり、例会に出席することで、ロータリー情報が一番伝わっていく。会員自身が身をもって体験することが必要。いくら情報を伝えたい、一緒に勉強したいと思っても、受け手の方に理解しようという気持、関心がなければ空振りに終る。

吉田リーダー どうも有り難うございました。それではここで、辻ガバナーがお出でになっておりますので、一つお話を願いしたいと思います。

辻ガバナー 私はこのI.G.F.は放談会と思っております。それで普段、自分の思っていることを言う。分らない時は分らなくていい。帰って勉強すればいい訳ですから。

公式訪問の時にも申しましたように、クラブ奉仕というものがしっかりとないと、ロータリーの奉仕活動は砂上の楼閣である。本当にこのクラブ奉仕という土台がしっかりとこそ、ロータリーの奉仕活動というものが、着実に進むことが出来るということを申し上げた訳です。クラブ奉仕というものは、ロータリーのあらゆる奉仕活動の基本になる、いわゆる足腰ですので、一つ一つの部門でいくと意味も深いし、難しい面もありますが、お互にそういう疑問点について、一緒になって話し合いをしながら、内容を深めていって戴けたら結構だと思います。

この中で一言申させて戴きたいのは、会員増強についてです。年度が始まって、第274地区では52.3名増えていると思いますが、まだまだ10%増強に及びません。残された4ヶ月間、一人でも多くの立派な優れた方を会員増強して戴ければ幸いです。

吉田リーダー 丁度今、ロータリー情報委員会の話をしていたところでございましたので、何か一言ございましたら。

辻ガバナー 自分達がロータリーをいかに良く知るか、いかに理解するかということが、ロータリー情報の一番基本であります。考えなくてはいけないのは、ロータリーに興味があるか、ロータリーが面白いかといったことが付随しないと、ただ情報を知れと言っても何か入りにくい。ロータリーは聞くことから始まるという原則があります。聞く為には例会に出席しなくてはなりませんが、その例会も楽しくないと出席したくないので、皆が集まってくれる、喜んで出席したがるような楽しい例会をするということが、やはりロータリー情報の根本ではないかと思います。

(10分間の休憩)

吉田リーダー 広報もクラブ内に対する広報、外に対する広報と両方あると思います。『ロータリアン必携』に比較的眼を通しているというご解答が多かったようです。7巻が一つになっており、ロータリーについて、今まで分りにくくとされていたのを、分り易く解説し事例も載せてあります。『ロータリアン必携』を出来るだけ会員の皆様方へ勧めて戴ければと思います。

広瀬副リーダー 『ロータリアン必携』をアンケートの「広報委員会」の中に取り上げて質問をした訳ですが、関連の情報も含め進めさせて戴きます。ガバナーも情報というものは例会ですすめるのが大事であり、聞く会員の意欲というのが、一番度合を増すという意味のことをおっしゃっておられます。ここで各クラブの皆様に、各員の意欲というのがどの位あるのかの判断をして、お答え戴きたいと思います。

石丸君（長崎） ロータリー情報は先程言われたように、例会に出席すれば大体分ることでしょうし、『ロータリーの友』を見れば一番解ると思います。私はここで今の質問と

違って、昔も今も一番悩んでいるのは、ロータリーを外に知らせるのに、どういう情報の伝達の仕方があるだろうかということです。

宮崎君（長崎北） ロータリー情報の伝達としては、炉辺会合が一番役立つのではないかと思う。

福井君（長崎南） 例会が一番大事だと思っている。「ロータリーは聞くことから始まる」ということは当然だが、私は「経験することから始まる」という感じも持っている。青少年をやられた方は青少年に熱心になる、クラブ奉仕をやられた方はクラブ奉仕で一生懸命になる。体験することが情報の伝達に一番いいのではないかと思っている。

富永君（長崎東） 古い人はそれなりに会得していると思うが、新しい人達にいかに理解して貰うかということに一番気を使っている。古参の人達を交えて勉強会をするようにしている。

黒川君（長崎北東） 週報を活用して情報を集めることになるのではないか。ある程度になると、自分で求めるということも必要だと思う。『ロータリーの友』を読むことによって、ある程度の情報は得られると思う。

吉岡君（東長崎） 「各委員会の奉仕活動を事業前にマスコミと連絡をとり、紙面に掲載、ブラウン管に放映をする」ことは、私達のクラブにその道のベテランがいてやっている。「地域住民との一体性を考えている」ということについては、会員の店の前に広報板を設ける等の広報活動をやっている。

○会員増強拡大

吉田リーダー 「会員増強拡大」については、各クラブともご苦心のことだと思います。地域が限定されて、なかなか適格な方がおいででないことがあるのではないかと思います。奉仕の機会として知り合いを広めるということ、親睦と奉仕はロータリークラブの両輪であると言われております。この会員増強拡大につきましては、新会員の増強であり、現会員の退会防止ということにも、大きな関係があると思いますが、会員各々事業を通じ、趣味等を通じて親睦を深めていることだと思いますけれど、設立後4年にして目覚しい会員の増強をされ、しかもクラブ内の雰囲気がとても良い様に感じております、長崎西RCの創立時の会長をなさった野口さん、ご発表願えませんでしょうか。

野口君（長崎西） チャーターメンバー25名で発足、私の1期目で57名になり、2期目で63名、現在73名。急速に増えたのは、ほとんどの職業分類が空白であり、思い切りいい方を選ぶことができた。私の会長時代、理事会を自宅でやった。酒肴を持ち寄っての和やかな雰囲気が例会にうつってきたようで、炉辺会合でもやると二次会に会員がくるといっ

た調子で結束したようだ。それとチャーターメンバーとその後入られた方との期間があまりなく、同格であるといったことが、今の雰囲気になっていると思う。

山本君（福江中央） 狹い地域の中で相当無理をして増強を頑張った。狭い地域においては、どうしても同業者というのは、お互い遠慮気兼ねがある。

脇山カウンセラー 会員増強で一番基礎になるのは、職業分類ではないかと思います。先般ガバナーと一緒に公式訪問いたしましたが、アッセンブリーの報告書の職業分類の作り方がまちまちだった訳です。ガバナー事務所から各クラブに職業分類表の一番詳しいのをお届けしていると思います。今後分類表を元に見直しをして戴きますと、増強もやり易いのではないかと思います。

石丸君（長崎） 会長、幹事、増強委員長といらっしゃるでしょうが、入会してから2,3年位は推せん者が推せんした人を指導するのか、会長か幹事が推せん者に、こう言ってくれ、ああやってくれうまくやっておられる所はございませんでしょうか。

吉田リーダー 石丸会員がおっしゃったように、推せん者が新入会員を推せんする場合、ロータリー情報委員会に出席して戴いて、種々ロータリー情報を与えて戴くということ。長崎RC等では親睦委員会に所属して戴いて、早く会員を知って貰う。また各会合に出て、とにかく体験をする。また先輩会員の同化の努力も必要ではないかなと思います。では最後に脇山分区代理から感想をお願いいたします。

脇山カウンセラー 皆様のご意見を聞いて、本当に皆様ロータリーを理解しようと、一生懸命になっていらっしゃるということがよく分りました。最初に申し上げましたように、クラブ奉仕というのが根幹になっております。親睦活動を今日はしておりませんが、これに親睦活動が入りますと、うまく行くのではないかと思います。長崎西RCさんはよくやつておられると申しあげたのですが、炉辺会合というのは大事だと思います。増強拡大については、佐賀と長崎の45クラブにあと1つ増やすということは大変なので、拡大はやめて増強をしようということでございます。

I.G.F.を今日ピシッとやった訳ですが、「国際」は毎年やっていますので、ガバナーが強調された「クラブ奉仕部会」、「新会員部会」、「青少年奉仕部会」の3部会をやった訳です。クラブ運営というのは難しいと思いますが、第6分区のクラブはうまく行っているし、楽しい雰囲気で例会も出来ているのではないかと思います。今日は本当に有り難うございました。

吉田リーダー 「親睦委員会」、「S.A.A.」につきましては、一応各クラブがこういうことをやっているということを参考にされ、また卓話につきましては、分区の中の会員にもすばらしい卓話をされる方がおられますので、各クラブ交換するという形で、充実し

た卓話が出来るのではないかと思います。最後に「雑誌」とか「会員選考」とか敢えてここに上げませんでしたが、『ロータリーの友』で雑誌その他につきましては、充分ご認識と思いましたし、何も他意はございませんので、ご了承願いたいと思います。

S.A.A.について一言、各クラブとも卓話が開始すると同時に、ザーと退出される方が非常に多い訳ですが、6割の36分間居れば出席になるのだという、単なる出席だけの問題ではなくて、やはり耐えの思いやり、友愛というのは一つのロータリーの基本になっておりますので、自分のクラブでどうしても公務でやむを得ないときには、他のクラブでのメーキャップもございます。充分1時間の時間は耐えの奉仕、耐えの友愛の形で、もう一度ご認識を改めて戴ければ有り難いと思います。

皆様にご協力戴きまして、無事終りましたことを、心から厚く御礼申し上げます。

青少年奉仕部会

カウンセラー 野田久雄(福江) 記録 牟田恒昭(福江)
リーダー 嵩則雄(〃) S.A.A. 江川京次(〃)
副リーダー 的野圭志(〃)

嵩リーダー挨拶 我が国が経済大国に成ると共に、次代をになう青少年の問題がクローズアップされて来ました。ロータリーでも社会奉仕の中で、青少年奉仕活動が年々、ウエイトを増して来ています。今回のアンケートでも、社会奉仕から独立しているクラブが多く、委員長が理事になっているクラブもあります。青少年奉仕活動は、益々重要性を増して来ると思います。

野田カウンセラー挨拶 ポール・ハリスが、青少年奉仕の重要性を説いて以来、ロータリーでは、奉仕活動の重点項目として、青少年対策が講じられて参りました。『ロータリアン必携』第6巻冒頭に「ロータリアンが地域社会で、また、世界という大きな社会で、いかに熱心に良い仕事をし続けたとしても、若者達が自分の時代を迎えた時、その指導力や奉仕の精神を受けつがなければ、ロータリアンの努力も歴史の一コマに過ぎなくなってしまうでしょう。ロータリーメンバーは、青少年の才能と熱意を呼び起こし、責任感を植え付ける事に、特別の関心を持つべきだ」とあります。自分の家庭の子どもに対して投資するだけでなく、全ての青少年に対して、その将来に目を向ける義務を負っていると思います。それが世界の未来を良くしようと努力するロータリーの使命です。

IAC、RAC、PYLAは、米国で初められた組織で、果して日本に向くかどうかについて疑問がないでもないが、これらの内容を考えると、青少年に調和の心、思いやりの心、奉仕の心を刻み込むことが、青少年奉仕活動の基本理念になっていると思います。

物質的援助だけでなく、ロータリアンの行動力により、青少年の中に入り込んで、彼等の求めているものを知り、また、私達の期待するものについても話し合うことが、青少年奉仕活動の糸口ではないかと信じています。

的野副リーダー <アンケート結果説明>

○青少年奉仕について

嵩リーダー 青少年奉仕委員会が独立しているクラブが6クラブ、していない所が3クラ

ブあります。青少年奉仕活動は年々その重要性が大きくなり、予算面でも社会奉仕の大部分を占める様になっています。五大奉仕でも良いのではとの意見も出ています。その点について独立していないクラブで、何かご意見はございませんか。

千綿君（東長崎） 前は独立していたが、会員が少ないので、現在は社会奉仕に所属している。

島崎君（長崎西） やはり会員が少ないので、社会奉仕に所属している。現在2名で、増やして戴く様お願いしている。

山下君（長崎北東） 今後、独立の方向でもって行きたい。

嵩リーダー 私の福江RCでは4名で、内2名は兼務です。会員が少ない場合、兼務もいいと思います。やる気と情熱があれば、2人でも充分やれると思います。

野田カウンセラー 3年前の規定審議会で、青少年奉仕を独立させる案が出ましたが、四大奉仕部門を堅持すべきだと否決されました。今年の規定審議会にまた提案されております。

嵩リーダー 3クラブで委員長が理事になっております。理事会で発言出来るし、予算編成にも参加出来るので、委員長を理事とした方が良いと思います。

・具体的活動について

長崎市内7クラブ……サマーキャンプ・剣道大会

福江RC……水泳大会

長崎北東RC……留学生とのミカン狩り

長崎北RC……青少年俳句大会

長崎西RC……国際青少年交流ボーリング大会・懇談会

嵩リーダー 青少年功労賞について、具体的にご説明下さい。

郡家君（福江中央） 青少年が島民に与えた影響が大という場合、表彰しています。賞状と副賞で数万円位です。

・予算について

予算額は30万円～150万円

嵩リーダー 青少年奉仕の予算はどのクラブでも多いようで、喜ばしいことです。

○RYLAについて

嵩リーダー ライラの参加について、何かご意見はございませんか。

大坪君（長崎南） 積極的に参加しています。ベテランの人達に磨きをかけた方が良いと思うが、会社の新入社員の方など、青少年活動のリーダーになって戴こうという方々に

参加を呼びかけています。

嵩リーダー アンケートで、R A Cがないでライラに参加しにくいとの回答がありましたが、地域の青少年をどうか遠慮なく大いに参加させて戴きたいと思います。

野田カウンセラー ライラは、ロータリアンと青年達が対食を共にしながら、ロータリーの精神を納得させ、そして将来の指導者としての資質を養成、あるいは、市民としての責任感を植え付ける事などが目的です。したがって、優秀な人ばかりを集める必要はなく、希望者がおりましたら大いに参加させて下さい。青少年とロータリアンとが親密に話し合うことで、非常に有意義な行事ですのでご奨励をお願いいたします。

○ R A C 提唱のクラブにお尋ねいたします

嵩リーダー R A Cについては、各クラブとも会員増強と確保にご苦労なさっています。福江R Cでも専属の委員会を作り指導にあたっていますが、困っております。他のクラブではいかがでしょうか。

橋口君（長崎） ロータリアンの企業の方が会員になっています。やはり会員減少傾向にあり、なかなか思う様に行きません。現在会員数18名です。

内山君（長崎北） 会員は20名です。ロータリアンにお願いする訳ですが、大変です。なんとかうまく行っているのは、RA会員が自分の職場の仲間を勧誘しているからで、そうするとスムーズにとけこみ、うまく行く様です。アクト自身で勧誘する事が重要と思います。

嵩リーダー 福江R Cは、一時、5名まで減少し廃止問題まで出ましたが、ロータリアンに強行にお願いし、12名までなりました。結婚や停年で、また地域的に若者が少ない事もあり、委員の方々も大変苦労されています。長崎市は事情も違うと思います。25周年で提唱を希望されている長崎南R Cには、頑張って戴きたいと思います。

野田カウンセラー 最近、理事会でR A Cの規約が全面的に改正され、年齢29才までとなり、例会にもロータリアンが必ずしも出席しなくても良いという事になりました。

○ I A C 提唱のクラブにお尋ねいたします

森君（長崎南） 現在、IAの運動は各学校単位のものと地区の共同事業があります。今度、具体的な共同プロジェクトが出て来ます。まず「IA研修旅行」。これは、全国及び外国のIAとの交換会です。今年は名古屋方面を予定しています。それから「顧問教師との懇談会」、「年次大会」、そして「命の大切さを考える運動への積極参加」です。事故直後の救急車が来るまでの空白の15分間が命にとって大切という事で、募金活動で学校

での救急医療の為、医療器具を置く様にしようという運動です。一つの事業にして行きた
いと思いますので、皆様のご理解と精神的助力をお願いします。（『ガバナー月信』3月
号参照）

嵩リーダー IAC運営上の問題点について、また将来についてご意見をどうぞ。

橋口君（長崎） 何か具体的な目標が有ると、活動が盛り上がる。経常的な事業を提唱し
て行く事により、活性化を計ることが大切。問題点は、学校の指導要領やスケジュールで、
こちらから持ちかけても取り上げてもらえない時もあります。また、指導の先生の転勤等
で、活動がとぎれる事もある。

前田君（長崎北東） 進学校である為、なかなか行事に参加できない時がある。

郡家君（福江中央） 県立高校では募金活動が出来ないので、ピン集めをやり、金額は
わずかですがやれば出来る事が分り良かった。学校側も非常に協力的。研修旅行は離島の
高校にとって有意義なので、もっと参加させてほしい。留学生との交換も、本当に楽しみ
にしております。

嵩リーダー 青少年奉仕活動は、やはり地域に密着した活動が必要ではないかと思いま
す。辻ガバナーに一言お願いします。

辻ガバナー 青少年は私達の子孫を受けついでくれる人達であり、21世紀に生きる人々
です。ロータリーでは、青少年問題は大きなウエイトを占めております。小さな町へ行っ
ても、青少年を非行から守ろうという看板が目につきます。青少年活動もそういう事を念
願において戴ければ良いと思います。RACもIACも一番大きな問題は、会員の減少です。
会員をいかに確保するかが大事です。RACについては、O.B.との密接な関係を持つ事によ
り何らかの突破策があるのではと思います。

野田カウンセラー 本日のフォーラムで、皆様はロータリーの青少年問題に関する有意
義な情報を得られたと思います。

私共は、青少年教育についてもう一度考え方新たにし、青少年奉仕活動の意義内容を充
分に検討、理解する必要があるのではないかでしょうか。そして、純真な青少年達を未来指
向的人材に育て上げる事が、ロータリアンの責任ではないかと思います。彼等のはち切れ
そうなエネルギーを正しく導く事が、大人の責務ではないでしょうか。

旧聞ですが、中国の鄧小平氏は、来日して帰国後、中国の青年層にこう話したそうです。
「日本の国力は、大したものである。諸君の中には、日本の軍備拡大によって再び中国に
進攻する危惧を感じるむきも有るかも知れぬが、その懸念は全くない。なぜならば、戦前
の日本の青年を自分は知っているが、彼等の目は生々と輝いていた。今回訪日してみると、
現在の日本の青年の目はどんよりと曇っていて、以前の様な活力を感ずる事が出来なかつ

たからである」と。

鄧小平氏をして、この様な印象を与えたとすれば、私共は青少年対策に一層の覚悟がいるのではないかと思います。

ガバナー講評

第274地区ガバナー 辻 庚一

講評という事でございますが、この講評というのは難かしゅうございますけど、昔の軍隊風でいいますと、本日の I.G.F.は極めて良好であったと申し上げます。

まず第一に、各部門ともデータ・資料が良く整理されており、アンケートも会員の言葉を引き出す様に構成され、リーダーシップのよろしきを得、活発な論議がなされました。

第二に、全員が極めて真面目である事。

第三に、良く勉強されている事に感心しました。具体的問題を討議され、今後の方針はどう有るべきか、また、今何をすべきかとの議論が行なわれました。

最初に戻りますが、極めて良好で有りました。有り難うございました。